

水稻除草剤

アッパレ[®] Z400FG

ピラクロニル……………5.0%
 プロピリスルフロソ……………2.25%
 プロモプチド……………22.5%

種類名/ピラクロニル・プロピリスルフロソ・
 プロモプチド粒剤

農林水産省登録/第24241号

毒性/普通物*

有効年限/5年

包装/400g×20、4kg×1

特 長

- ノビエ(3葉期)をはじめ、様々な雑草に素早く効果を発揮します。
- SU抵抗性雑草(ホタルイ、コナギ、ミズアオイ、オモダカ等)に優れた効果を示します。
- 多年生難防除雑草(クログワイ、コウキヤガラ等)に高い効果を示します。
- FG剤は軽量かつ水面を自己拡散する新しい製剤です。
- 適切な水管理ができる圃場であれば、圃場の大小に関わらず畦畔から散布可能で、散布労力と時間の軽減に貢献します。
- 無人航空機(ドローン等)でも散布可能です。1キロ粒剤よりも軽く、短時間で散布が終了するためバッテリー消費を節約できます。

適用雑草と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 多年生広葉雑草 エゾノサヤマカグサ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	400g	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロソ剤 2回 プロモプチド剤 2回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機散布
直播 水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで			

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。ミズアオイは1葉期まで、ホタルイは4葉期まで、ウリカワは3葉期まで、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは3葉期まで、ヒルムシロは発生前まで、セリは再生前から再生始期まで、エゾノサヤマカグサは2葉期まで、オモダカは発生前から発生始期まで、クログワイは草丈10cmまで、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ナガエツルノゲイトウは再生始期、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前から発生始期が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイ、ナガエツルノゲイトウは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 藻や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 著しい降雨が予想される場合には除草効果が低下するおそれがあるので、散布を控えてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。

■蚕毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年2月1日現在の登録内容に基づいています。